



九份子国民中小学校バスケットボールチームの皆さんが来校しました

昨年度から交流を進めている、九份子国民中小学校のバスケットボール部員 12 名と教職員等関係者の 12 名、計 24 名の方々が川上小中学校を訪問されました。先ずは 6 月 29 日(土)の午後、川上中学校体育館において、山口パッツファイブ所属の重富知希選手を指導者としてお招きし、男子バスケットボールと合同練習や交流試合を行いました。最初は全員が言葉も通じず緊張して会話もない状況でしたが、一緒に練習したり試合をしたりする中で徐々に緊張もほぐれ、簡単な英語や身振り手振りでコミュニケーションを取ることができ、大変貴重な経験となりました。



7 月 1 日(月)の午前中、1 時間目は全生徒で歓迎セレモニーを開催しました。各学年の国際交流活動実行員が企画運営を担い、最初に川上中学校紹介を行い、次に 1 年生はイントロクイズ、2 年生はアニメのキャラクターシルエット当てクイズ、3 年生は貨物列車シュッシュュを実施し、大変な盛り上がりを見せ来校した児童生徒も大喜びでした。2 時間目は、国語科の習字や音楽科の合唱、数学科の方程式の授業に参加し、一緒に授業を受けました。3 時間目は川上小学校の授業参観をしました。その後一緒に給食を取り、全てのプログラムを無事終了することができました。今度は是非、川上中学校の生徒が九份子国民中小学校を訪問し、台湾の文化に触れたり学校生活を体験したりすることで、自分の視野を広げ多角的なものの見方ができる機会がもてればと期待します。



令和6年度生徒総会 ～ より良い川上中学校へ 自分たちの学校生活を見つめ直す ～



7月4日(木)に年に一度の生徒総会が行われました。今年の議題は、①校則の見直し②学校行事の見直し③運動会及び文化祭のスローガンについてでした。校則の見直しについては「登校時において体操服を認めてほしい」でした。今までは雨の日など天候によっては体操服登校を認めていましたが、近年の異常な暑さ対策として体操服登校を認めてほしいでした。このことについては、緊急性がある提案でしたので、早速教職員で検討し、7月8日(月)から許可することにしました。また、学校行事の見直しについては、運動会や文化祭の内容について生徒の提案や企画を増やしてほしい、マラソン大会について別の取組にするか廃止してほしいという提案がありました。生徒からの意見をしっかり受け止め、それぞれの行事の目的や意義、授業時間等を総合的に考え、前向きに検討していきたいと思っています。なお、運動会と文化祭スローガンについては、後日発表がありますが、今年の運動会と文化祭も生徒皆さんの創意と工夫により、実り多い取組となること楽しみにしています。



自然災害に備えて ～ 自分の身は自分で守る ～

6月28日(金)の学期末テスト終了後に、災害発生時に安全・安心敏速に避難できるようにすることや避難体制の確立を図る、地震や災害発生時の対応についての理解と意識の高揚を図ることを目的に、地震対応避難訓練を実施しました。生徒は、災害発生時の対応について資料映像を視聴した後、放送による緊急地震速報を聞き、即座に頭部を守るために机の下に隠れ、担任の指示に従い体育館に避難しました。元旦に発生した能登半島地震も記憶に新しく、生徒全員が真剣に素早く身の安全確保や避難行動をしました。地震大国に生まれた我々日本人にとって、地震は避けて通れない災害の一つであることを自覚し、緊急時の対応方法を身に付けておきたいものです。

